

仲間の「絆」で一日も早い復興を願おう

新年明けましておめでとうございます

「命」「人生」「支」「絆」「心」

新しい年を組合員・御家族其々の思いで迎えられたことをお喜び申し上げます。

私たちの昨年一年は、東日本大震災を始めとした自然災害の脅威により多くの国民の「命」が失われました。

また、1つの重大事故によりお客様の「人生」を大きく変えてしまうと言う事実もあり「安全最優先」と安全に対する意識の重要性と責任を感じた一年でした。

その一方で多くの仲間の「支」えにより、苦難を乗り越え前に進もうと多くの被災者が日夜努力されています、今後も色々な形で仲間と被災された方々を互いに支えながら活動しましょう。

「絆」何と素晴らしくも重い言葉なのでしょうか、一人一人がもう一度この言葉を考えながら、自分にとって「絆」とは、何を指し何が「絆」なのか？皆さんの行動に係っていると思います。

被災された方々にもお客様にも常に「心」を持って接する、その事が自分達にも必ず良い形で帰って来ると信じています。

昨年の厳しさを忘れず、地方本部は組合員やご家族の生活環境が今まで以上に、少しでも安定した状況になるよう努力をして参ります。

バス会社の厳しい経営環境が好転することは、まだまだ望めませんが、ツアーバス問題に関する検討会も3月に最終報告が出され、対等の輸送環境で競争し打ち勝てる施策が重要であり、労使でバス事業での黒字化に向け取り組んで行かなければなりません。

当面、2012年春季生活闘争を組合員・家族の総団結で取り組む決意です。

今年が組合員・御家族にとって良い年となるよう、心から願っています。

2012年元旦

JR西労組西日本JRバス地方本部
執行委員長 西原 一英・役職員一同